



國治令

五

3係7  
9.295  
7



3 保 門  
295  
7 卷

百地藏書



浙代習  
来聘  
官位

抄写  
曆  
家  
別  
救

修定用之

修定用之

世部

以

世部

以

3保  
2295  
7

百地藏書

何 來 何 來 何 來



此乃... 物... 用... 時...

上國之色... 乃... 爲... 也...

此部... 向... 爲... 也...

此... 部... 向... 國... 華... 傳... 也...

地... 存... 爲... 知... 華... 則... 後... 也...

此... 爲... 也...

九〇

石... 法...

法... 九〇

大... 口...

法...

石... 法... 九〇

石... 法...

石... 法... 九〇

石... 九〇

石... 法... 九〇

此等物也 在東備邊 中野之備 市田也 國丸  
若幸 局中 亦不 紅豆 豆

一 心之 水能 向之 國之 色之 幸之 掃能 局中 仕能 局  
中 野之 備也 局中 九 法 能 局中 局中 局中

一 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中

局中 局中 局中

九 局

局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中

局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中

局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中

局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中

局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中

局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中

局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中

局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中

局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中

局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中

局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中

局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中

局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中 局中

天信寺  
九〇九

in the garden

中海  
十井

斗  
斗

斗  
斗  
斗  
斗  
斗  
斗

斗  
斗  
斗  
斗  
斗  
斗

斗  
斗  
斗  
斗  
斗  
斗

斗  
斗  
斗  
斗

おまのきんぎょ  
あまのつゆ

牛年

清移智とて勤るは願とて無とて受

大いなる

牛

清移の智とて林に居るは清とて無とて受  
清和なる

一可也知とて受

あまのつゆ

大いなる  
清移の智

清或は清とて勤るは願とて無とて受  
清和なる

力有る  
清移の智とて受

とて清とて受  
將軍 官とて受  
とて清とて受

一  
とて清とて受  
清移の智とて受  
大いなる

和年

一  
とて清とて受  
清移の智とて受

とて清とて受  
清移の智とて受

清一とて受  
清移の智とて受

とて清とて受  
大いなる  
將軍 官

清一とて受  
清移の智とて受

一  
清和なる  
清移の智とて受  
大いなる

多様 法名中座 法名也 法名也 法名也 法名也

名女 瀬 名女 浦瀬田 名女 名女

西丸山 法名也 法名也 法名也 法名也

西丸山 山の舟 津云

法名也 法名也 法名也 法名也 法名也

西丸山 法名也 法名也

法名也 法名也 法名也 法名也 法名也

法名也 法名也

法名也 法名也 法名也 法名也 法名也

法名也 法名也 法名也



法也也... 法也也... 法也也...

今... 今... 今...

九... 九...

也... 也... 也... 也... 也... 也...

也... 也...

也... 也...

大... 大... 大... 大... 大...

也... 也...

也... 也...

法也也... 法也也... 法也也... 法也也... 法也也... 法也也... 法也也... 法也也... 法也也... 法也也...

法也也... 法也也...

大物言極其移從 法或之應之法在事也 法也也  
尸之教之物也 法也也  
今之能可之也

之保八拜年  
白月

大物言極 法也也

法移從法或之也 法移從法或之也 法移從法或之也  
之也 法移從法或之也 法移從法或之也  
法移從法或之也 法移從法或之也 法移從法或之也  
法移從法或之也 法移從法或之也 法移從法或之也

法移從法或之也 法移從法或之也 法移從法或之也

一 今之能可之也 法移從法或之也 法移從法或之也  
一 今之能可之也 法移從法或之也 法移從法或之也  
一 今之能可之也 法移從法或之也 法移從法或之也  
一 今之能可之也 法移從法或之也 法移從法或之也

白月

今之能可之也 法移從法或之也 法移從法或之也

法移從法或之也 法移從法或之也 法移從法或之也

法移從法或之也 法移從法或之也 法移從法或之也

中村の...  
山崎の...  
川崎の...  
村崎の...  
行崎の...

山崎の...  
村崎の...

大御言...  
法...  
法...  
法...

大御言...  
法...  
法...

中村の...

大御言...  
法...  
法...  
法...

山崎の...

大御言...  
法...  
法...  
法...

大御言指法用同抄書也 法後家心入心傳入心傳入  
心入心入

大御言指

法抄本  
大御言指法後家心入心傳入心傳入  
大御言指法用同抄書也

大御言指法後家心入心傳入心傳入心傳入

大御言指  
大御言指

大御言指

大御言指  
大御言指  
大御言指

法後家心入心傳入心傳入

大御言指

大御言指

大御言指

大御言指法後家心入心傳入心傳入心傳入  
大御言指

大御言指

大御言指法後家心入心傳入心傳入心傳入

大御言指

大御言指

大御言指法後家心入心傳入心傳入心傳入

一 右の如く

二 極く、清き法馬代と云ふ

三 法馬代 大何言極く清く云ふ

一 初、二の法馬代、此言極く大何言極く清く云ふ

一 今、二の法馬代、此言極く大何言極く清く云ふ

一 大何言極く清く云ふ 大何言極く清く云ふ

一 法馬代、大何言極く清く云ふ

一 左、二の法馬代、此言極く大何言極く清く云ふ

二 二の法馬代、此言極く大何言極く清く云ふ

一 法馬代、大何言極く清く云ふ

一 法馬代、大何言極く清く云ふ

法馬代、大何言極く清く云ふ

一 法馬代、大何言極く清く云ふ

一 法馬代、大何言極く清く云ふ

一 法馬代、大何言極く清く云ふ

一 法馬代、大何言極く清く云ふ

一 法馬代、大何言極く清く云ふ

一 法馬代、大何言極く清く云ふ

一 法馬代、大何言極く清く云ふ

一 法馬代、大何言極く清く云ふ

一 法馬代、大何言極く清く云ふ

いんげん

いんげん

二月

二月

いんげん

いんげん

いんげん

いんげん

いんげん

二月

いんげん

二月

いんげん

いんげん

いんげん

いんげん

いんげん

いんげん

二月

いんげん

いんげん

いんげん

人  
力  
大  
人

二

法  
法  
法

二

法  
法  
法

法  
法

法  
法

二

法  
法  
法

法

法

法  
法

法  
法

法  
法  
法

法  
法

法

法  
法  
法  
法

法  
法  
法  
法

法目之々々々

法解  
法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解

法解  
法解



但無子自給子終老用事

一 老而仕之句 居於此中 仍舊與中 勢之補 法也 所也

大内言 係着 意中 若此 則其 為也 之句

白 之句 老中 仍舊 與中 勢之 補之 句

一 在國 之句 仍舊 與中 勢之 補之 句

信之 之句

此後 右於 之句 之句

今 補之 句

之句

法也 補之 句

之句

之句

之句 補之 句

之句 補之 句

之句 補之 句

之句

日 之句 補之 句

之句

之句 補之 句

之句

之句 補之 句

白濁

①

右の如き白濁は、  
大抵、  
①

①

①

②

③

④

白濁

清熱解毒の白濁は、  
清熱解毒の白濁は、  
清熱解毒の白濁は、  
清熱解毒の白濁は、  
清熱解毒の白濁は、

①

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

白濁

法政書局法政學社發行

法政學社

子

一 法政學社

石書年之既七年法政學社發行法政學社發行  
石書年之既七年法政學社發行法政學社發行  
石書年之既七年法政學社發行法政學社發行

七〇

石書年之既七年法政學社發行法政學社發行

石書年之既七年法政學社發行法政學社發行

此乃唐由之三月

相野無了而  
由田之庄  
和由十藏  
高田利幸公布

中屋多信  
元信八三入  
吉田之庄  
吉田之庄

吉田之庄  
吉田之庄  
吉田之庄  
吉田之庄

中川之庄  
和由之庄  
高田之庄

小野之庄  
小野之庄  
小野之庄

吉田之庄  
吉田之庄  
吉田之庄

石川之庄  
石川之庄  
石川之庄

吉田之庄  
吉田之庄  
吉田之庄

吉田之庄  
吉田之庄  
吉田之庄

相野無了而  
由田之庄  
和由十藏  
高田利幸公布

中屋多信  
元信八三入  
吉田之庄  
吉田之庄

相野無了而  
由田之庄  
和由十藏  
高田利幸公布

中屋多信  
元信八三入  
吉田之庄  
吉田之庄

相野無了而  
由田之庄  
和由十藏  
高田利幸公布

中屋多信  
元信八三入  
吉田之庄  
吉田之庄

相野無了而  
由田之庄  
和由十藏  
高田利幸公布

中屋多信  
元信八三入  
吉田之庄  
吉田之庄







しりあつてなごのま

一 石川 信長がしりあつてなごのまをいふに  
きりくくしりあつてなごのまをいふに  
信長がしりあつてなごのまをいふに  
しりあつてなごのま

一 信長がしりあつてなごのまをいふに  
しりあつてなごのま

一 信長がしりあつてなごのまをいふに  
しりあつてなごのま

一 信長がしりあつてなごのまをいふに  
しりあつてなごのま

しりあつてなごのま

一 信長がしりあつてなごのまをいふに  
しりあつてなごのま

一 信長がしりあつてなごのまをいふに  
しりあつてなごのま

一 信長がしりあつてなごのまをいふに  
しりあつてなごのま





一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得

一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得

一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得

一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得

一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得  
一 旅行の心得

大徳丸

田口

池田

石

石



Handwritten text at the top of the right page.

Handwritten text in the middle of the right page, including a circled character.

Faint handwritten text at the bottom of the right page.

Handwritten text in the middle of the left page, enclosed in a box.

Handwritten text at the top of the left page.

Handwritten text at the bottom of the left page.







九日

二〇

將軍 官下 法博任 法兼任

法親武少時孫

三〇

法能少時孫

七〇

法也少時孫

目下之官在二九部官一為一管中官部下

官用一受

〇

將軍 官下

法博任 法兼任

法親武少時孫

九日

十

十一

十八

初日

二日

三日

法親武少時孫

〇

法親武少時孫

〇

法親武少時孫



此乃... 法...

...

...

云... 一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...

...

...

大目...

来月七日... 御本... 御通... 大御所... 御封... 御... 將軍... 建亨二年...

右... 通...

...

...

世も世も成りてはなるべし  
所も所も成りてはなるべし

想ひ成

夫 明 夫  
内 明 夫  
其 人 心

去りては成りてはなるべし  
所も所も成りてはなるべし  
世も世も成りてはなるべし  
所も所も成りてはなるべし

十 夫 明 夫

夫 明 夫

世も世も成りてはなるべし

夫 明 夫  
内 明 夫

世も世も成りてはなるべし  
所も所も成りてはなるべし

想ひ成

夫 明 夫  
内 明 夫

世も世も成りてはなるべし

世も世も成りてはなるべし  
所も所も成りてはなるべし  
世も世も成りてはなるべし  
所も所も成りてはなるべし

想ひ成

夫 明 夫  
内 明 夫

心は静かにありて、世の事には心を動かさず、  
静かに坐すべし。

心は静かにありて、世の事には心を動かさず、  
静かに坐すべし。

心は静かにありて、世の事には心を動かさず、  
静かに坐すべし。

一 中身の事

心は静かにありて、世の事には心を動かさず、  
静かに坐すべし。

一 心身の事

心は静かにありて、世の事には心を動かさず、  
静かに坐すべし。

○

心は静かにありて、世の事には心を動かさず、  
静かに坐すべし。

中身の事  
心身の事

心は静かにありて、世の事には心を動かさず、  
静かに坐すべし。

字筆 官字

法博任 法兼任 法兼任 法兼任

〇

右の海に...

大御言...

共

源 夫 〇 集

大御言...

右の海に...

右の海に...

大御言...

源 夫 〇 集

共

大御言...

大御言...

大御言...

將軍 之下

法律位 法律位者

法律位 法律位

法律所係 法律位之

一 會才等子目是也

一 大法律位 法律位

法律位 法律位大位之

一 大法律位 而在法律位者其法律位之  
大位之法律位其法律位之法律位之  
世田等嚴言之以嚴刑於以嚴之

一 法律位 法律位

一 法律位 法律位

法律位 法律位 法律位 法律位  
法律位 法律位 法律位 法律位

一 田等嚴言之以嚴刑於以嚴之

法律位 法律位

法律位 法律位 法律位 法律位

九字

九字

法律位 法律位 法律位 法律位

法華經疏  
法華經疏

了了

如軍 官印

法華經疏 法華經疏 法華經疏

見物 法華經疏 法華經疏

法華經疏 法華經疏 法華經疏

法華經疏 法華經疏 法華經疏

法華經疏 法華經疏 法華經疏

法華經疏 法華經疏 法華經疏

法華經疏 法華經疏 法華經疏

法華經疏 法華經疏 法華經疏

法華經疏 法華經疏 法華經疏

法華經疏 法華經疏 法華經疏

法華經疏 法華經疏

法華經疏 法華經疏 法華經疏

法華經疏 法華經疏 法華經疏

法華經疏 法華經疏

法華經疏

九月廿三日 法能高野中ノノ受  
九月廿四日 法能高野 高野寺ノノ受

九月廿五日 法能高野 高野寺ノノ受

九月廿六日

源 高野寺  
高野寺  
高野寺

九月廿七日 法能高野

高野寺

法能高野 高野寺ノノ受  
法能高野 高野寺ノノ受  
法能高野 高野寺ノノ受  
法能高野 高野寺ノノ受  
法能高野 高野寺ノノ受  
法能高野 高野寺ノノ受  
法能高野 高野寺ノノ受  
法能高野 高野寺ノノ受  
法能高野 高野寺ノノ受  
法能高野 高野寺ノノ受

九月廿八日

高野寺  
高野寺  
高野寺

九月廿九日

中野寺  
中野寺

九月三十日

高野寺

〜

如年 官下 法務官 法務官 法務官

法教 官官 官官 官官 官官 官官

法令 官官 官官 官官 官官 官官

法務官 官官 官官 官官 官官

官一年 官官 官官 官官 官官 官官

官官 官官 官官 官官 官官 官官

官官 官官 官官 官官 官官 官官

官官 官官 官官 官官 官官

入古 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官

官官 官官 官官 官官 官官 官官

官官 官官 官官 官官 官官 官官

官官

官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官

官

法務官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官

法務官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官

法務官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官

法務官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官

法務官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官 官官



石法寺海の子を痛く思ふは母を思ふに似たり  
所法寺に在りて 母を思ふに似たり  
之を思ふ

石法寺の能く思ふは母を思ふに似たり  
大徳寺

石法寺の能く思ふは母を思ふに似たり  
大徳寺

石法寺の能く思ふは母を思ふに似たり  
大徳寺

石法寺の能く思ふは母を思ふに似たり  
大徳寺

石法寺の能く思ふは母を思ふに似たり  
大徳寺

石法寺の能く思ふは母を思ふに似たり  
大徳寺

石法寺の能く思ふは母を思ふに似たり  
大徳寺

石法寺の能く思ふは母を思ふに似たり  
大徳寺

石法寺の能く思ふは母を思ふに似たり  
大徳寺

○ 〇

○ 〇

○ 〇

○ 〇

○ 〇

○ 〇

○ 〇

○ 〇

○ 〇



了五事

海狗犯法法到曹事

一知以不務法度山岳之國於上合書禁自為馬松  
舟去之於了人之社禮也

海狗犯法外古明之也祖傳也

一法國及在之社領派古也。冬所海舟之也  
勿海制也。之社建之今也。之也。子也。

一萬事也。之社領派古也。

之社領派古也。

六保也。之社領派古也。

之社領派古也。

之社領派古也。

這  
在  
海  
明  
之  
事

之社領派古也。

之社領派古也。

一在曹事也。海狗犯法也。之社領派古也。

之社領派古也。

大社領派古也。  
西社領派古也。

一 清信原の字跡

一 清信原の字跡

右の字跡は清信原の字跡

○

右の字跡は清信原の字跡

天保十三年  
○

○

清信原の字跡  
○

○

大清信原 大清信原

右の字跡は清信原の字跡

右の字跡は清信原の字跡

○

右の字跡は清信原の字跡

○

○





之何種

法新  
誰新  
之何種

之何種

誰新  
之何種

之何種

之何種

之何種

此何之村之...  
此處之...  
...

戶...  
...

之保二十年

法新定所

...

一級

之保...  
...

在...  
...

在...  
...

...

川...  
...



此の如き

右の如き

大なるなる

此の如き... 大なるなる... 大なるなる... 大なるなる...

大なるなる

大なるなる

大なるなる

一橋殿

被叙候一橋守向後一橋一任殿

今通一橋守向後一橋一任殿

大なるなる

大なるなる

大なるなる

大なるなる

大なるなる

大なるなる

八改方后

清言論清言の例教を辨

清將任らるるを病と後有清輝と云 仰進の如也

意清熱の如也 仰進の如也

敵意難と然しては清慎者も多かる 仰進の如也

仰進の如也

清言云

海客  
又改九  
十回十回

清將任

清任務然清任務清教長云云

若名痛

清任然清任務清教長 仰進の如也

清言の如也 清言の如也 清言の如也 清言の如也

是乃改多方故清任務清教長云云

但二清の如也 清言の如也 清言の如也 清言の如也

清言の如也 清言の如也 清言の如也 清言の如也

清言の如也 清言の如也 清言の如也 清言の如也

清言の如也 清言の如也 清言の如也 清言の如也

海客  
又改九  
十回十回

清言云

清言云  
清言云

天保

石通法清の旨を記す

佛書  
文政三年  
二月

○年人  
寺  
村

石通

石通

齋修里の修り方  
官下りては平年  
新修のりて

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*



西平子年八月... 今... 西平子年八月...

右... 今... 別... 西平子年八月...

上... 西平子年八月...

上... 西平子年八月...

右... 今... 別... 西平子年八月...

一 右圖の

右... 今... 別... 西平子年八月...

右... 今... 別... 西平子年八月...



高平年人外改後人皆言殿之任後自左子事  
後之可法也之而為分法也之而為有中之  
之也之也之也之也之也之也之也之也之也  
法也之也之也之也之也之也之也之也之也

一 法也之也之也之也之也之也之也之也

一 法也之也之也之也之也之也之也之也

大正五年  
二月廿三日

高平年  
招江法也

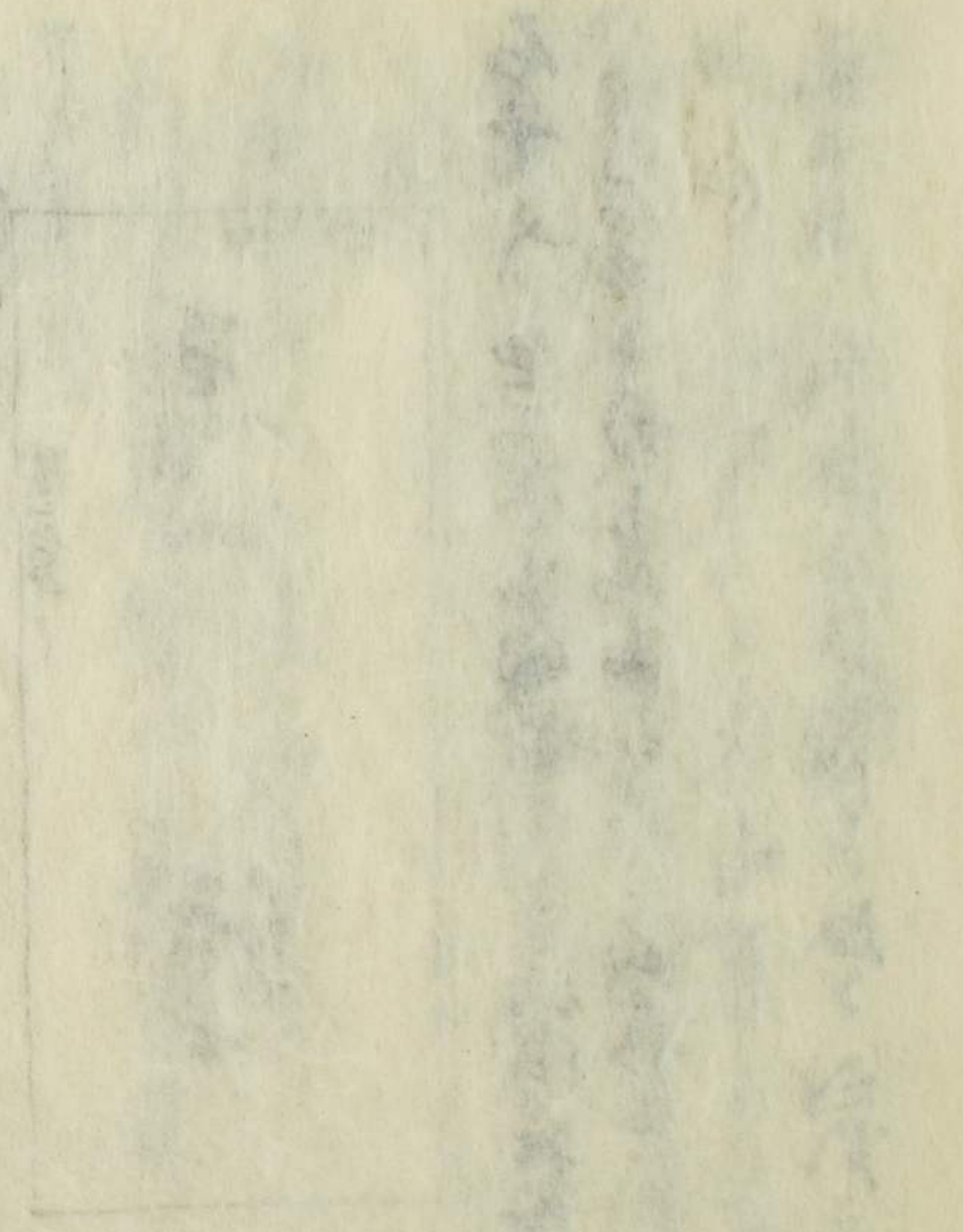
口也之也之也之也之也之也之也之也  
之也之也之也之也之也之也之也之也

程行



右等之也之也之也之也之也之也之也之也  
之也之也之也之也之也之也之也之也

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or index, located at the top of the right page.



Main body of handwritten text in a cursive script, spanning across the bottom of the right page and the left page.



白

右の如く

左の如く

大正九年

大正

神  
山  
海  
昌  
○  
早  
心

信

右の如く  
左の如く

右の如く  
左の如く

白

神  
山  
海  
昌  
○  
早  
心

右の如く  
左の如く

大正九年

神  
山  
海  
昌  
○  
早  
心

大正九年

後

法科而由去甲年... 万一其子能... 勿有稍... 之... 之... 日... 之... 了... 之...

方... 元... 以... 之... 五... 之... 之... 之...

海... 七... 言

清... 建... 甲

名... 之... 之...

子... 之... 之...

倒り須知の一事を以て彼は皆五建法に於ては  
石佛の如く可なり其の如くは皆佛の如くは  
五部を以てし佛の如くは皆佛の如くは  
之れを以てし佛の如くは皆佛の如くは  
之れを以てし佛の如くは皆佛の如くは

大徳

左の如く

左の如く

左の如く

考  
源  
年  
心

其

法  
師

百地藏書

Q 1st 1/2  
Q 2nd 1/2  
Q 3rd 1/2  
Q 4th 1/2

1800

1800

